

「お金を呼ぶ文字」の書き方を練習すれば 脳と行動が変わり豊かな人生が始まる！

筆跡アドバイザー マスター 長谷美稀子

筆跡心理学と文字の力が融合

文字には、それを書いた人に関する情報が含まれています。多くの人は、そんなことを意識していません。しかし、なんらかの文字を見るときに、書いた人のことをイメージする場合は非常に多いのです。

お金を呼ぶ文字

練習帳

「文字を書いた人の性格を想像したことがある」という人は、実に7割を超えています。そして、汚くて乱雑な文字を見たときは、書き手に対して「自己中心的」「感情の強い人」「トラブルメーカー」という印象を抱くという結果が出ています。

このように文字は、人間の意識に影響を与えています。しかもそれは、他人の書いた文字からよりも、自身の書いた文字からのほうが、圧倒的に大きな影響を自らに与えるのです。

五行相生ののっとり 金運が上昇する！

お金を呼ぶ文字に含まれる6文字はもちろん、私たちがふだん使っている漢字のルーツは、古代中国にあります。殷の時代、神様との対話に用いられるための非常に神聖なものとして、5000文字が表出されたとされています。次の周の時代に

なって、国家の法律の記録や部族間の契約に文字が使用されるようになりましたが、それは王様など限られた身分の人しか使えなかったことは、言うまでもありません。

その筆跡心理学をベースに、文字そのものが持つ力を生かしながら組み合わせるとまとめたものが、「豊」「富」「宝」「財」「満」「金」の6文字からなる「お金を呼ぶ文字」なのです。

このように、そもそも文字には強力なパワーが備わっており、力の象徴的存在であり、とても高貴なものでした。だからこそ、多数の部族がいながらも、中国という1つの国に統一できたとも考えられます。

お金を呼ぶ文字の6つのそれぞれの意味については11ページ以降でお話しますが、例えば「豊」という文字は、心や情報の豊かさ「内面・精神面の豊かさを象徴していますから、「学び」「創造」という意味を持つ北「水」に相当します。

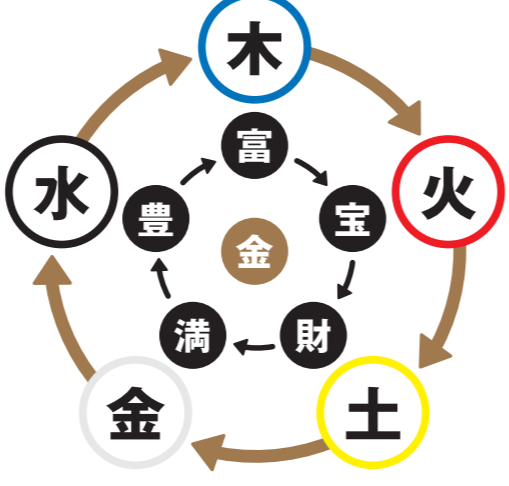
自然界の森羅万象が表現される「陰陽五行図」

あなたの本質もこの中のどれかで表現される (詳しくは18ページ)



五行における相生関係にリンクする「お金を呼ぶ文字の循環」

5つの漢字が「金」の字を中心に循環し、あなたに恵みをもたらす



すべきは、あくまで文字の「形」です。金運を高める理想形の文字を書くことで、お金に恵まれることがい

文字には、お互いに好影響を与えながら循環し、自らの金運を最良に保つ関係性があります(図2を参照)。これは、五行説において「相生」と呼ばれる関係です。「木(富)」が「火(宝)」を生み、「火」は「土(財)」に還り、「土」の中で「金(満)」が息つき、「金」の表面に「水(豊)」が生じ、「水」が「木」を育てる……。

ですからぜひ、お金を呼ぶ文字を身につけていただきたいと思います。そのために今回、お金を呼ぶ文字の理想的な形をなぞる練習シートを16ページにご用意しましたので、活用してみてください。

実際に「お金を呼ぶ文字」の書き方を練習する際は、各漢字を1日10個ずつ、21日間続けることをお勧めします。16ページの「練習シート」は1日分ですから、できれば21枚コピーしてお使いください。

実際に「お金を呼ぶ文字」を練習することで、仕事やお金の状況、人間関係がガラリと変わったかたは少なくありません。この特集でお金を呼ぶ文字のエッセンスをすべてお伝えしますので、ぜひご自身で、またご家族で試してみてください。

こうして最高の循環が自分を中心になされることで、お金につながる物事がどんどん生み出され、金運が上昇し、実際に手元に引き寄せられる流れになっているわけです。

この練習量をめんどろに思われるかもしれませんが、ここまでやると脳が変わり、思考も必ず変わります。お金についてポジティブな情報が詰まった文字を意識的に書き続け、脳

にプラスのイメージを蓄積することにより、まさにお金に恵まれる行動ができるようになり、豊かな人生が始まるのです。

どうしても時間的に余裕がない人は、6つのうち2つの漢字を練習するだけでもOKです。2つとは、図2の「お金を呼ぶ文字の循環」の真ん中にある「金」の字と、あなたご自身の誕生日から割り出される漢字(18ページ参照)です。

各漢字を1日10個、21日間練習する！



はせ みきこ
東京都出身。白百合女子大学文学部国文科卒業。日本筆跡心理学協会理事。女性週刊誌にて、芸能人御用達実力派占い師8人の1人として紹介される。一流のアーティストや経営者、芸能人など、これまで数千人の筆跡診断を通じて、お金持ちや成功者が書く文字の特徴を体系化し、「お金を呼ぶ文字」を完成させた。